

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年2月27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503361		
法人名	医療法人 三宅会		
事業所名	グループホーム新涯		
所在地	〒721-0955 広島県福山市新涯町3-14-7 電話 084-981-1117		
自己評価作成日	平成30年1月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471503361-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471503361-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年2月2日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者様の気持ちを理解し穏やかに過ごせる空間を創る。 笑顔の絶えないホームを目指す。 地域の方との交流に積極的に参加する。 常に災害対策を念頭に訓練を実施。 体調管理は三宅会グッドライフ病院と連携し、緊急時にも備えています。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>“入居者の皆様が家族のように共に暮らせるようお手伝いします。あるがままを温かく受け入れ、安心と穏やかな生活を営むことを支援いたします”事業所の理念を職員間でしっかり共有し、利用者一人ひとりの思いを汲み寄り添った支援をしている。住宅や学校、商業施設がバランスよく整備された区画の地域の中で日常的な散歩や買い物などの外出や地元の夏祭りや敬老会、地域の夜回りなど行事や活動に積極的に参加し、地域と馴染みのもてる交流がうまく図られている。職員間の共有やサービスの質の向上を目指し、月二回のミーティングを毎週の開催に変更、研修の充実を行うなど利用者のケアに力を入れていく取り組みがある。法人内の病院や訪問看護との連携により利用者の状態の変化に柔軟に対応できる安心して医療が受けれる体制がある。昨年2月より職員や業務の体制を見直し2ユニットがより交流を持てる改善がなされている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を事務所のドア、各階の朝礼場所に掲示し唱和する事にしています。玄関にも掲示し御家族にも理解されるようにしています。	グループホーム設立当初からの独自の理念を職員の見やすい位置に掲示し朝礼で唱和し共有している。事業所の年間目標とそれに合わせた形での職員個人の目標も作成し双ともに取り組んでいる。職員には年2回個人面談を設け目標の評価や日常の業務内でも気付いた時に注意喚起を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に常に参加し交流を図っています。	地域の町づくり協議会とも協力関係を持ち、日常的に溝掃除や防災訓練など一緒にする活動があり、とんどや夏祭り、夜間地域の夜回りにも参加しており、小学校から演奏会の招待や地域の方から手作りのアクリルたわしを頂いたり地域との根強い関係性が形成されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	季節の行事への参加、インターシップの受け入れなど地域との交流を図っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を2か月に1回開催、市職員、町内会長、民生委員、近隣の方、家族様に参加してもらい情報やアドバイスを受けています。	町内会長や市の職員、民生委員などの参加があり定期的開催され意見交換がなされている。地域の方から事業所の看板が夜間も点灯していることで田の稲が実をつけにくくなるという意見があり夜間は消せるように改善したりと日常的で身近なことや地域の話など活発に交わされている。	会議に参加されるメンバーもまばらな面がみられることもあり、参加や周知の声掛けの工夫や参加出来なかった家族にも、全員に議事録の送付や開催案内を送ることで理解が深まり参加がしやすくなるように取組み、参加者が増え更なる活発な意見交換に繋がることを今後期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加して頂き、情報やご意見など寄せて頂いております。市主催の会合に参加し情報の把握にあたっています。	必要時には市に確認を行っている。事業所便りを市役所に送り事業所の取り組みを知って頂くことや市の主催の研修会に積極的に参加するなど関係性の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設内の勉強会において身体拘束をしない、させないケアに取り組んでいます。職員すべてにおいて理解する努力をしています。	法人内、事業所内での研修を通して職員間で身体拘束をしないケアを浸透させている。危険が予測されるケースも転倒防止マット、センサーを活用するとともに適切なケアにて身体拘束のないケアを周知、実践されている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内での研修、勉強会に参加し理解を深めています。また、三宅会での勉強会にも積極的に参加するようにしています。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、活用する機会はありません。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所前に事前面談、見学を実施。入所時に契約書の説明、読み合わせを実施。解約時や退所時の説明をした上でサインを頂いています。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様、家族様からの要望など面会時や電話連絡にてお聞きしています。玄関にアンケートボックスを設置し、また、努めて家族様とお話をするようにしております。	日々の関わりで意向を把握し、時折夜勤時に夕食後の落ち着いた時間を利用し、女性利用者・女性スタッフにより女子会が開かれお茶しながら個人に合わせ思いを深く掘り下げ不安や気持ちを傾聴しそこから自宅に行きたいなどの希望の実現や、家族から居室の掃除についての要望も各担当を決め改善を行った例がある。	

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1度の勉強会、2度のミーティングにおいて意見、要望を聞く場を設けております。施設長は意見、要望等を三宅会の会議に諮っております。</p>	<p>月に二度の開催であったミーティングを毎週に変更し、スタッフの意向や思いを表せれる機会を増やし、上がった議題もスピーディーに対応することで職員のやりやすさ、モチベーションに繋げている。面談も半年に一度あり、新人職員にも面談機会を1～2か月しっかり設け仕事に励める環境である。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則は常に事務所にて閲覧できるようにしております。施設長、管理者は職場環境の改善に心掛けております。また、三宅会と情報の共有を図っています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>三宅会との勉強会や外部の研修会への参加が出来るよう努めています。内外の勉強会でスキルアップを図っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>認知症カフェ等への参加等同業他社とも交流を図っています。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面談時に要望を聞くようにしています。入所後にも聞き取るよう努力しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面談時、契約時、入所後など聞き取りを積極的に実施、信頼関係の構築に努力しております。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前の情報、入所後など聞き取りを積極的に実施、利用者様に遭うサービスを模索し一番あったサービスを提供することを目指しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様を尊敬し、楽しく元気に暮らすことを念頭にあるがまを受け入れていく。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>状況を常に把握し利用者様、その家族様と情報を共有することに努力する。同じ立場同じ気持ちを持つように取り組む。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>訪問しやすいホームを目指して、雰囲気や環境づくりに努めています。</p>	<p>家族の来所が毎日ある方も複数おられる。地元の方の入居も多いということもあり、友人や知人の面会も頻繁にみられ近所の話で盛り上がりたりと関係性の継続があり、元漁師だった方に海に連れていくなどドライブで馴染みの場所に行くことも多く取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様には努めてリビングに来ていただき、共同生活されるよう見守っています。職員は進んで支援できるよう関わっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	終了し退所後も相談支援を行っています。また、三宅会の地域連携室にもお願いをしています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様、ご家族様との交流において情報を収集し、希望や意向にそうよう努めています。	日々の関わりや部屋でゆっくりと本人の思いを傾聴したり、女子会などでの意向の聞き取りがあり、家族には面会などで確認している。趣味が書道である方はずっと続けていたり、ホームからあまり出ていないイメージもあったことに気付く事で、外出・ドライブにも力を入れ思いを実現できる取り組みに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時の面談などの情報をケアプランに取り込み変わらない生活を過ごせるようつとめています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の様子を記録し各個人の現状を把握し、意思表示の難しい利用者には表情の変化に注意し適切な対応をしています。		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプランの見直しを計画担当者は、管理者、看護師、職員、施設長、医師の意見を参考に利用者、ご家族様にケアプランを提示しています。</p>	<p>日々の関わりをケース記録に詳細に記載し、ケアの内容を会議や毎週のミーティングで職員同士意見交換している。利用者ごとに担当職員を設け、個人の思いを深く聞きカンファレンスノートにて全員で共有するようにしている。職員が個人をより知りそれを基に家族や関係者を交えての計画作成を実践している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>朝礼、昼礼、夕礼を実施するなかで情報の共有化を図っています。また、記録を残し申し送りをしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>最高の支援ができるよう、医療法人三宅会の施設、機関と連携を図っています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域へのつながりを絶やすことのないよう行事などについて積極的に参加しております。敬老会、お祭りなど楽しんで生活できるよう努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>医療法人三宅会の協力により訪問診療を行っています。以前からの医療機関や専門外の医療については職員同行のもと受診を行っています。</p>	<p>利用開始時に意向を確認し、以前からのかかりつけ医の継続も行っている。看護職員も配置されており、法人内の病院や24時間の訪問看護による連携により、定期的な往診や受診、緊急時の体制も充実していることから利用者が安心して医療・看護が受けられる体制がとられている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は訪問看護師や看護職員と相談、報告、連絡を密に摂り利用者様が的確な診療や看護を受けられるようにしている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院スタッフと情報共有を常に図っています。提携医療機関が母体のため安心して治療ができます。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時にご家族様、ご本人様に方針を説明し、もし兆候があれば医師を交えて、入院の準備とご家族様のお気持ちに沿った対応、支援を行います。	重度化した場合における対応に係る指針”を利用者に説明している。実施例はないが希望があればターミナルケアも行うことも伝え、状況の変化に応じかかりつけ医や家族、職員を交えて検討を重ね、病院や特養施設との連携も対応していきながら利用者及び家族の意向に添える取り組みを行っている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに沿って、対応をしています。また、急変時は救急車の手配を指示しております。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防火訓練は年2回以上訓練し、防災訓練も地域の訓練に参加し非常時の連携を図っています。	運営推進会議にて災害対策の話を持ち、消防署の立会いの元、近所の方の協力も得ながら訓練を実施している。近くの小学校も避難所であることや地域の防災訓練にも参加しており、食品の備蓄や災害別のマニュアルの作成もできており非常時の意識も高く持ち取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様を尊敬し、各々のプライバシー保護を配慮しています。言葉遣いなどの接遇勉強会を行い習得するよう努めています。	玄関に事業所での取り組む倫理を掲示しており、接遇やプライバシーなど勉強会や研修を通して、職員の理解の促進や職員間での意識の共有が持てるようにしている。言葉掛けやケアの中での対応も穏やかにその人に合わせた対応を心がけ、管理者も気になる点があればその場で注意することに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	希望や思いを聞き入れるようにしている。難しい時は本人様、家族様と話し合いで解決するよう努力しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	柔軟な対応を心掛け、ご本人の希望に沿うよう配慮、支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に理容院、美容院を利用しています。また、季節の変わり目には家族に連絡して、洋服など用意してもらっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝、昼、夕食は医療法人三宅会の管理栄養士が献立を計画し調理は職員が調理する体制です。食材の準備を出来るだけ手伝って貰っています。	日常の会話から季節の旬や嗜好を情報収集し、庭の畑から野菜を収穫し調理に活かし3食共に手作りしている。メニューも趣向を凝らし品数も多く美味しさも好評である。体重や体調の管理面にもしっかりと目を向けて食を提供している。今後お好み焼きや焼きそばなど利用者と一緒に作っていくことも検討している。	

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>健康状態を把握し各人にあった栄養摂取、水分、食べる量など把握し一人ひとりの習慣に応じた支援をしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に一人ひとりに声掛けしています。また、各個人に合わせた口腔ケアを実施しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>各個人に合わせた排泄介助を支援しています。なるべく、トイレでの排泄を支援をしています。</p>	<p>ケース記録にて排泄の記録をもとに個人の排泄の感覚やパターンを把握し個別に誘導したりと支援している。排泄は極力座って行うことを意識して日々の自立した排泄に取り組んでいる。水分摂取や個人に合わせ食事の食材にも、こだわることに力を入れている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘の原因になるものを理解し、各個人に合わせた食事、水分などの調整を心掛けています。薬の使用はなるべく避けることにしています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>各個人の入浴スケジュールを組み、体調を考慮しながら気分よく入浴出来るよう支援している。時間、回数、転倒に注意しています。</p>	<p>入浴のタイミングはおおよそ決まっているが個別の様子に合わせて午前、午後と実施しており、週2回が基本であるが入浴回数も希望により増やしている。できる限り湯船に入ってもらいたい思いで、利用者の状態やリスクにも職員間で都度話をし対応している。褥瘡の方にも毎日の入浴で清潔にした取り組みもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>夜間安眠出来るよう、日中はリ ビングで過ごすようにしています。 また、外出支援も積極的に生活 リズムの構築に努力しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬剤の効用、副作用、用量など に関して職員各人が把握し、変 更があれば申し送りをして記録 を残し、確認に努めています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>入居者様の生活履歴、趣味、思 考などを考慮して本人らしく過 ごせるよう支援しています。楽 しく、明るく過ごせる日々の 生活を送る支援をしています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>気候に注意して散策、ドライブ、 買い物など希望に沿った支援 をしています。</p>	<p>季節ごとの行事で外出すること や近所に日常の散歩やドライブ など個人個人に付き添い、時 間があれば外出するように取 り組んでいる。家族の協力も 得ながら外食や外出もあり、 近所にスーパーもあることで 日常的にも気軽に買い物に行 かれています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している。</p>	<p>個人の希望、ご家族の意思を 尊重し、必要に応じて対応して います。お金の管理は台帳に出 金、入金を記載し1週間に1 度チェックをしています。ご家 族様がいつでも閲覧できる 対応をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望に応じた支援をしています。電話は事務所にての対応です。難しい入所様にはこちらで連絡をするようにしています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用スペースは1階も、2階も常に清潔にしております。入所様の作品を居間、廊下、階段、玄関と飾っています。四季に応じた飾りをしております。	庭の畑には季節の野菜や夏にはブドウを栽培したり、裏にはさくが植えてあり、収穫を楽しみながら過ごせる利用者の馴染みの場になっており、敷地内のテラスでのんびり過ごしたりもされている。職員が季節の花を持参し飾ったり、利用者の作られた作品など四季の創作・装飾があり彩のある空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間と食堂を兼ねて使用し、席は固定しておりますがテレビの視聴などあるため配置換えにも工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所時にあらかじめ希望を聞き持参してもらっています。使い慣れたもので過ごしていただいています。	居室内にはクローゼットが備え付けであり、荷物の収納に容量も多くとれることでスッキリとして生活がしやすく、そこに馴染みのものを自由に持ち込むことができ、趣味の書き続けた書写や写真など壁面に飾ったりと個人の生活や思いに添った居心地良く過ごせる環境づくりがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	施設内に手すり、歩行器、歩行訓練ができるようスペースをとっています。		

V アウトカム項目( ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム新涯

作成日 平成30年 3月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	決まった家族様の参加しかない。	毎回でなくても多くの家族様の参加。	日程、連絡の方法を考える。	1年
2	10	年1回の家族会しか開催できなかつた。	家族も参加できる催しを開催する。	誕生日会など家族様に来てもらう。	1年
3	36	各人に対する対応の差、言葉の掛け方、言葉遣いが悪い。	言葉遣いの徹底 個別のケア。	家族のように接することを取違えている姿勢をもう1度考え直す。	6か月
4	6	身体拘束の意味、内容の徹底。	身体拘束を毎月の議題で考える。	勉強会に定期的議題とする。	2か月
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。